

1 地区の概況

- ・ 区の中央部から南に延びる細長い地区で、南は泉区に接しており、19の自治会があります。
- ・ 15歳未満の割合が12地区中で最も低い一方、65歳以上の割合は2番目に高くなっています。
- ・ 地区の北側には大きな公営住宅があり、公営住宅に住む人の割合が8割に達しています。一方、南側は持ち家の比率が高く、8割前後に達しています。
- ・ 高齢者対象の活動、子育て支援とも活発に行われています。



2 第1期で取り組んだ主な活動や事業

重点的な取組ごとに部会を設け、協議会において定期的に情報共有しながら取組を進めました。

- ・ 1期の期間中に、新たに2つのサロン（スプリングガーデンサロン、サロン井戸端）が立ち上がり合計4つ（上記2つ以外に「よってって～A」「よってって～B」）となったサロンの活動を支援しました。
- ・ 見守りの体制について検討し、「見守りネットワーク」の充実に向けて活動しました。また、高齢者支援拠点「あつて～南瀬谷」の活用・充実及び運営支援に取り組みました。
- ・ 多目的広場を開放、体育指導委員、青少指導員等と連携しこどもの遊び場を提供しました。また、こどものもり公園などで、大人とこどもが遊ぶイベント（凧揚げやどんと焼き）の開催やプレイパーク（ロープ遊びなど自由な屋外の遊び場）の体験版を行いました。
- ・ 困ったときに気楽に相談できるお助けボランティア活動に着手しました。
- ・ 高齢者等の心や身体の健康づくりのイベント（3世代交流の場としての芋ほりや歌声喫茶など）の開催に取り組みました。

3 第2期計画に向けての課題

交流や見守りの取組を継続・拡充するとともに、地域の人に広く取組を知ってもらう必要があります。

- ・ 固定化されたメンバーだけでつながりを持つのではなく、新たな参加者や担い手とともに、取り組む必要があります。
- ・ 高齢者が多く、地域での生活支援を維持・継続することが必要です。
- ・ 必要な人に支援を届けるために、もっと活動をお知らせする必要があります。

こどもの森公園での「プレイパーク」の様子



4 推進母体

南瀬谷地域福祉保健計画推進協議会
(南瀬谷自治連合会、南瀬谷地区社会福祉協議会、他協力メンバー)



5 第2期計画の取組内容

みんなで、誰もが気持ちよく暮らせる「みなみせや」にしていきましょう！
 (平成23年度～平成27年度に、地域全体で取り組みたいこと)

■スローガン

あいさつ ♥ いっぱい ♥ みなみせや
 それぞれの個性を思いやり、みんながいきいきしているまち

～図の解説～「葉っぱ（目標）」を育てるのは「水と栄養（具体的な取組）」、水と栄養の「源」は地域

■具体的な取組



1-1 見守り活動を進めて地域の人を知ろう、支えよう

【取組例】

- ・いざ！ともくん（※）を配付しよう

※「いざ！ともくん」とは
 一人暮らし高齢者のためのいざ！
 という時のための安心グッズです。

2-1 気軽にあいさつできるご近所になろう

【取組例】

- ・夏休みにこどもとラジオ体操をしよう
- ・おじいちゃんおばあちゃんの知恵を知ろう
- ・こどもが集える場をみんなで作ろう
 (プレイパークなど)
- ・サロンなどで交流の輪をひろげよう

1-2 地域で助け合おう

【取組例】

- ・お互いの声かけなどで助けあいを進めよう
- ・高齢者などの健康づくりに取り組もう

2-2 交流のための施設や拠点を地域で工夫しよう

【取組例】

- ・地域内各施設を有効活用しよう

■取組の目標

目標1
 ～地域の支えあい・助けあい

目標2
 ～顔見知りの関係づくり・交流

■取組の視点

幅広い世代で楽しく進めていこう

【具体的な取組】

- ・新しい人も参加できる工夫をしよう

取組のPRを続けよう

【具体的な取組】

- ・よい取組は継続的に呼びかけよう
 (あいさつ運動など)
- ・様々な活動の周知の工夫をしよう